

平成 23 年 12 月 1 日  
環 境 局

## 東京における「今夏の節電対策」の実施結果

- 照明照度は、「従来の 750 ルクス以上」から、「500 ルクス以下」が主流に
- この秋も、昨秋比 10% (約 400 万 kW) の電力削減が継続中

2011 年夏の電力不足に対応するため、都は「東京都電力対策緊急プログラム (H23.5.27 策定)」に基づき、都内事業所や家庭、都施設等での節電対策を推進してきました。

このたび、東京における今夏の節電対策の総括として、プログラムの主な実施状況とともに、都が今秋実施したアンケート調査結果を踏まえた都内事業所等での今夏の節電対策の実施状況と今後の対策継続の意向に関するとりまとめを行いましたのでお知らせします。

### 概 要

#### 【調査実施概要】

都は、9 月下旬から 11 月上旬にかけて、東京における今夏の節電対策の実施状況等について調査を実施

- 『アンケート調査』...事業所で実施された対策の状況と今後の対策継続の可能性について調査
  - ・大規模事業所：都条例「キャップ&トレード制度」の対象事業所に対して実施
    - ・建物所有者：1298 事業所に送付 (回答：521 事業所、回収率 40%)
    - ・大規模テナント事業者：774 テナントに送付 (回答：204 テナント、回収率 26%)
  - ・中小規模事業所：都条例「地球温暖化対策報告書制度」の報告書提出事業者に対して実施
    - ・1099 事業者 (企業) に送付 (回答：484 事業者 (企業)、回収率 44%)
    - 1 事業者 (企業) は複数の建物・フロアを所有・使用。アンケート調査対象となった事業所数は約 3 万
- 『街頭アンケート調査』...家庭での対策状況や街中の対策に対する印象、今後の取組継続の可能性について調査
  - ・5276 名に対して面談調査

東京で取り組まれた対策の具体的な実施状況や今後の継続意向が大きいことが明らかに。

#### 【今夏の節電対策】

事業所や家庭で、省エネにもつながる対策が、従来にも増してより徹底して実施  
～特に大規模事業所では、これまでの省エネ・CO2削減のノウハウを活かして、比較的無理なく実践

- 照明照度の見直しがこれまでにない規模で実践  
～「従来の 750 ルクス以上」から、「500 ルクス以下」が主流に。
- 空調 28 も多くの事業所・家庭で実践 ～大規模事業所の“執務室”ではテナントエリアも含め 6 割を超える事業所で実践 (昨夏の実施割合は 3 割)
- テナントビルでの省エネ対策も大きく進展 ～テナントが自主的かつ積極的に対策実施  
特に大規模事業所では、多くのテナントがオーナーに対して節電対策を提案
- 今夏の街中での対策 (照明の明るさや空調 28 等) について、多くの市民が支持
- 飲食店などのサービス施設においては、顧客の大きな協力・理解を得て節電を实践
- 多くの事業所や家庭では、今後も継続して取り組む意向

この夏、東京で、「これまでの電気の使い方」が大きく見直された。

裏面へつづく。

#### 【問い合わせ先】

環境局 都市地球環境部 計画調整課 (電話 03(5388)3486(直))

前頁よりつづく。

#### (大規模事業所では)

- ・昨夏は取組の少なかった、“執務室”での照明照度の見直し(照明の間引き等)や空調28 を、今夏多くの事業所が実践(特に、照度は、「従来の750ルクス程度以上」から、「500ルクス程度以下」が主流に)
- ・テナントビルでの取組が大きく展開 ~テナントが自主的かつ積極的に対策実施
- ・今夏対策を実施したほとんどの事業所が、来夏も継続して取り組む意向

#### (大規模事業所内のテナントでも)

- ・多くのテナントが、ビルオーナーに対し節電対策を提案
- ・ほぼ全てのテナントが電力使用量の「見える化」(ビルオーナーからのデータ提供等)が節電に活用できたと回答
- ・昨夏は取組の少なかった、“執務室”での照明照度の見直し(照明の間引き等)や空調28 等を、今夏多くのテナントが実践(特に、照度は、「従来の750ルクス程度以上」から、「500ルクス程度以下」が主流に)
- ・今夏対策を実施したほとんどの事業所が、来夏も継続して取り組む意向

#### (中小規模事業所では)

- 多くの事業所で照明照度の見直しが実践(照度も、「従来の750ルクス以上」から「500ルクス以下」へ)空調28 を、大規模事業所同様、今夏多くの事業所が実践
- ・飲食店などのサービス施設においては、顧客の大きな協力・理解を得て節電を実践
  - ・今夏対策を実施したほとんどの事業所が、来夏も継続して取り組む意向

#### (街頭アンケート調査結果でも)

多くの市民が、今夏「駅構内・ホーム」「商業施設」等で実施された、照明の明るさや空調28 等を支持  
今後の取組継続も支持する傾向

#### (家庭では)

多くの家庭で、「不要な照明の消灯」や「エアコン28」、「冷蔵庫の庫内温度設定の変更」、「テレビの省エネモード設定」等を実行。今夏対策を実施したほとんどの家庭が、今後も継続して取り組む意向

**電力使用制限解除後も、昨年同時期比約10%(約400万kW)削減が継続中**

秋季は、夏季に比べ冷房需要が少ないため、事業所や家庭で「照明照度の見直し」等の対策が継続されていると推定 (東電管内)  
こうした取組の継続は、今後の省エネ・CO2削減にも大きく寄与

### 【今夏の節電対策】 一方、一部負担の大きかった状況も確かに存在

#### (大規模事業所では)

- ・工場の5割で「生産量の調整」を実施。「節電対策実施による製品の品質や歩留まりの低下」については、8割の事業所が「影響無し」と回答
- ・「エスカレータの使用停止」も大規模事業所で多く実施されたが、来夏は6割の事業所で「実施予定なし」

#### (中小規模事業所では)

- ・「サービス業系」や「工場」では、空調28 について、お客様からの苦情や従業員・作業員の作業環境の面から今夏の取組が困難だったという意見も。最大取引先の輪番操業に合わせて、休日営業・平日休みを実施したが、他の取引先との調整に工夫を要したとの意見も。

#### (街中の対策については)

- ・「駅構内・ホーム」での「エレベータ/エスカレータの運転台数の削減」について、今夏の取組に対する市民からの支持率は高いが、今後の取組継続への支持割合は下がる傾向。「電車内」での「空調28」についても多くの市民が今夏の取組を支持しているが、今後の取組継続への支持割合はやや下がる傾向

### 【今後にもむけて】

負担のかかりすぎた一部の対策は今夏限りとし、気候変動対策(CO2削減)の観点も踏まえ、「合理的な省エネルギー対策」をより一層推進していく。

#### (資料) 東京における「今夏の節電対策」の実施結果

- 1.「東京都電力対策緊急プログラム」の主な実施状況と「今夏・今秋の電力需給状況」
- 2.都内事業所・家庭における今夏の節電対策の実施状況等 ~節電アンケート調査結果
- 3.今夏の節電対策の総括 ~今冬における「賢い省エネ・節電」対策の実施にむけて

#### 今夏の節電対策に関するアンケート実施概要

家庭向けパンフレット「この冬も、見直してみましよう。電気の使い方」

## 1. 「東京都電力対策緊急プログラム」の主な実施状況と「今夏・今秋の電力需給状況」

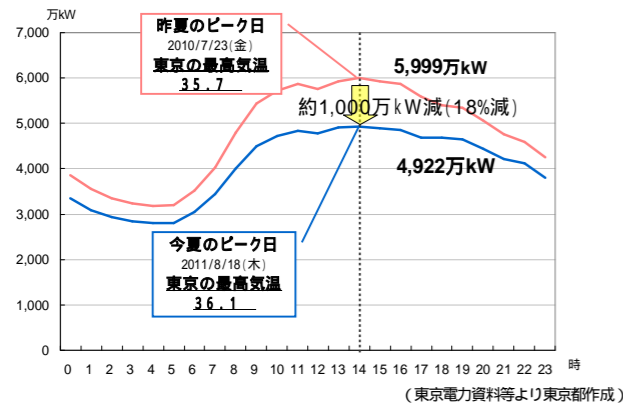
平成 23 年 12 月 1 日  
東京都環境局

### 今夏の電力需給状況 (2011年夏)

#### 今夏の「東京電力管内」の状況

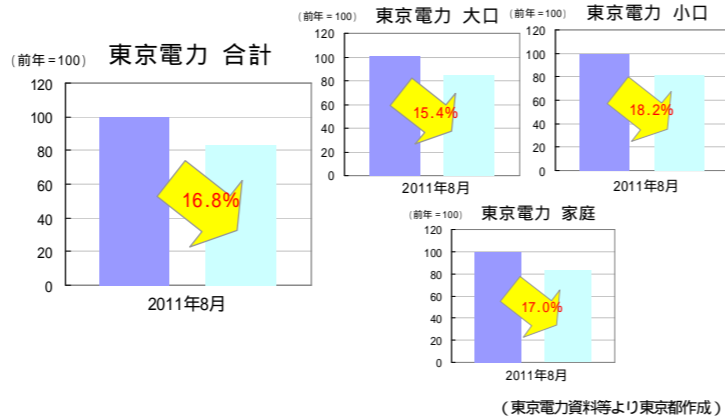
今夏の東京電力管内の最大電力は、  
昨夏比約18%削減 (約1000万kW減)

- 今夏の最大需要発生日は、昨年夏よりも気温が高いが、各主体の対策で節電が実現
- \*電気事業法による使用制限解除後も引き続き、電力供給力の範囲内に収まる。(気温が30℃を超えても、最大需要は4700万kW程度に収まる。)



電力消費量も、昨年に比べて顕著な減少

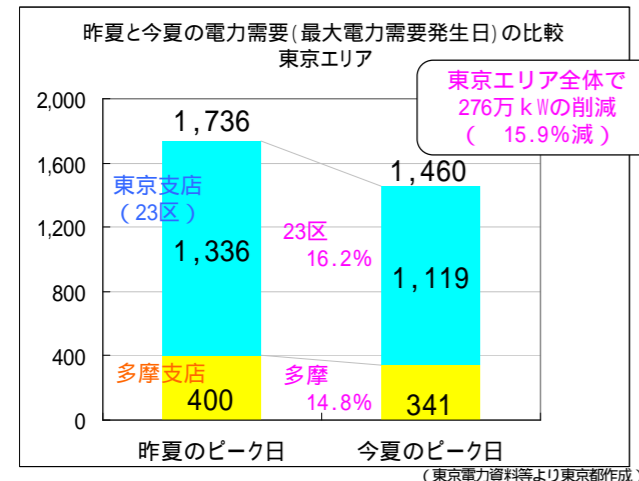
- < 2011年8月の電力消費量 (kWh) の対前年同月比較 >
- 東京電力管内全体で16.8%減
  - 大口需要家15.4%減、小口需要家18.2%減、家庭17.0%減



#### 今夏の「東京エリア」の状況

今夏の東京エリアの最大電力は、  
昨夏比約16%削減 (276万kW減)

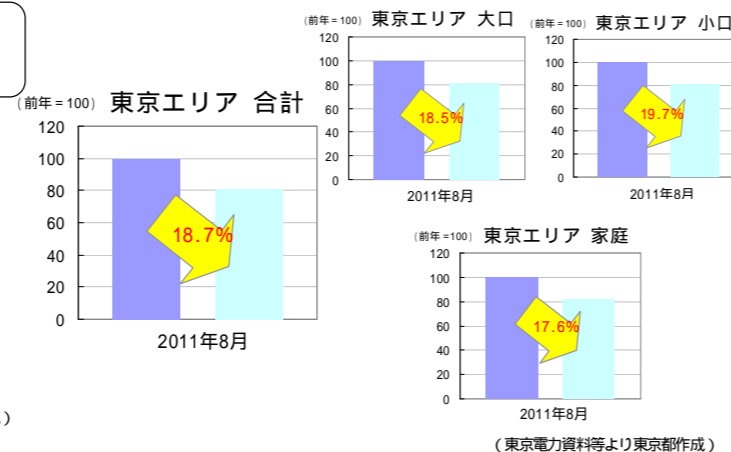
東電管内全体より減少率は下回るのは、23区(東電東京支店エリア)と多摩部(東電多摩支店エリア)のピーク発生時間が、東電の全体傾向と異なることに起因



2011/8/18での最大電力発生時間(東京エリア)  
東京支店(23区エリア): 2011/8/18(木) 16-17時、多摩支店(多摩部): 2011/8/18(木) 19-20時

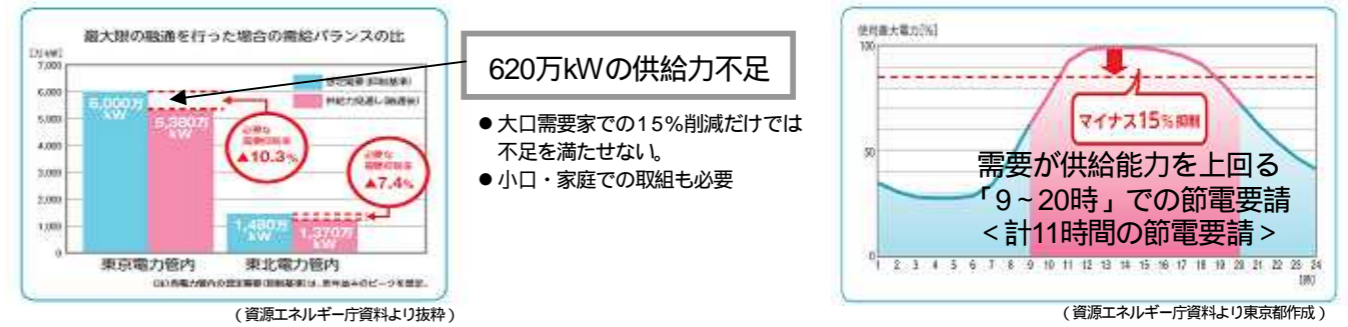
東電管内全体の減少率を上回る、  
電力消費量の削減実績

- < 2011年8月の電力消費量 (kWh) の対前年同月比較 >
- 東京エリア合計で18.7%減
  - 大口需要家18.5%減、小口需要家19.7%減、家庭17.6%減



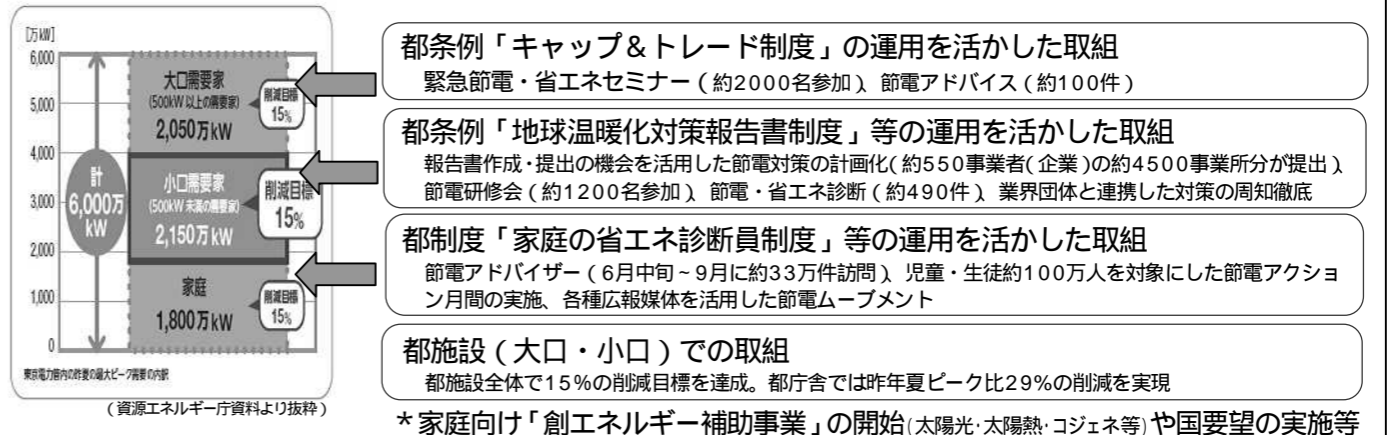
### 「東京都電力対策緊急プログラム」の主な実施状況

今夏の緊急電力対策の必要性 ~ 「最大需要想定」に比べ「供給力が不足」(政府2011/5/13時点)



### 「東京都電力対策緊急プログラム」~ 過度の電力依存社会からの脱却を目指して (2011/5/27)

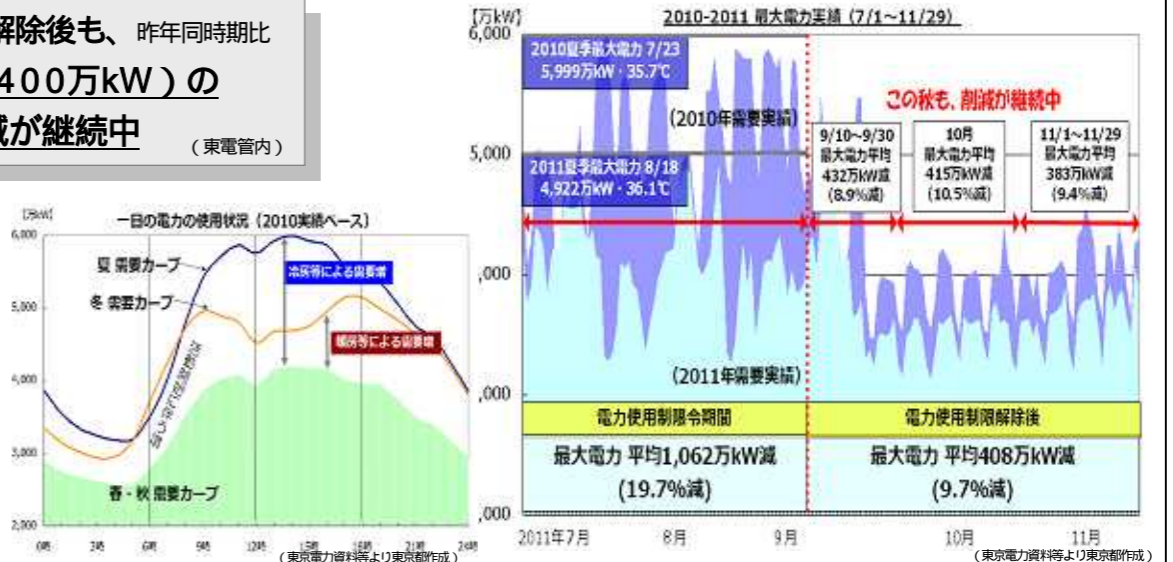
「これまでの東京の気候変動対策の蓄積」を活かした取組を展開



### 今秋の電力需給状況 (2011年秋)

電力使用制限解除後も、昨年同時期比  
約10% (約400万kW) の  
最大電力削減が継続中 (東電管内)

10~11月の秋季は、夏季に比べ冷房のための電力需要が大幅に少ないため、「照明の引き直しによる照明照度の見直し」等の対策が継続されていることが推定できる。





2. 都内事業所・家庭における今夏の節電対策の実施状況等 ～節電アンケート調査結果

平成 23 年 12 月 1 日  
東京都環境局

「大口需要家（大規模事業所）」の取組状況

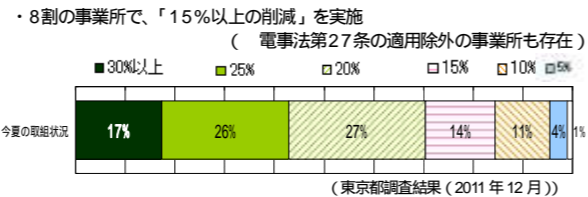
「建物所有者」の取組状況

都条例「キャップ & ロード」制度対象事業所（建物所有者）：1298 事業所に送付（回答 521 件、回収率 40%）

- 省エネ対策として提示されてきた取組が、従来にも増してより徹底して実施された。これまでの省エネ・CO2削減のノウハウを活かして、比較的無理なく実践
- 昨夏は取組の少なかった、“執務室”での照明照度の見直し（照明の間引き等）や空調 28 を、今夏多くの事業所が実践
  - ▶ 特に照度は「従来の 750 ルクス」から「500 ルクス以下」が主流に
- テナントビルでの取組が大きく展開（照明照度の見直し等のテナントエリアでの取組がこれまでにない程度実施）
- 今夏対策を実施したほとんどの事業所が、来夏も継続して取り組む意向
- 「工場」では、5 割の事業所で「生産量の調整」が実施。「節電対策実施による製品の品質や歩留まりの低下」については 8 割の事業所が「影響無し」と回答

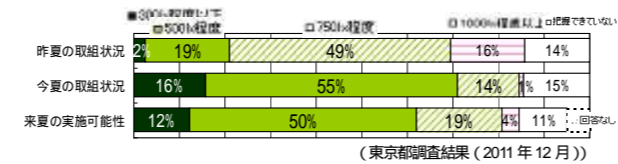
緊急の節電要請であったため、今夏追加的に実施した施策は設備更新を伴わない運用対策が主であったが、都条例への対応等のため計画的な設備更新を実施中でありその効果も相まって削減が達成できた、とする事業所も。

【昨夏と比べた使用最大電力の削減割合】



【主要な居室（執務室）の平均的な照度】

- ・昨夏は 5 割の事業所が「750 ルクス程度」（「1000 ルクス程度以上」も 16% 存在）
- ・今夏は 6 割の事業所が「500 ルクス程度」に  
（全体の 7 割が「500 ルクス程度以下」で実施）
- ・「来夏での実施」：6 割の事業所で「500 ルクス程度以下」を実施



都条例「キャップ & ロード」制度における特定テナント等事業者（大規模テナント）：774 テナントに送付（回答 204 件、回収率 26%）

大規模事業所内の「テナント」の取組状況

- 多くのテナントが、ビルオーナーに対し節電対策を提案
- ほぼ全てのテナントが電力使用量の「見える化」（ビルオーナーからのデータ提供等）が節電に活用できたと回答
- 昨夏は取組の少なかった、“執務室”での照明照度の見直し（照明の間引き等）や空調 28 に今夏多くの事業所が取組
  - ▶ 照度は「従来の 750 ルクス以上」から「500 ルクス以下」が主流に

オーナーから提供されるテナントのエネルギー消費量についても、「月単位」の情報だけに留まらず、「時間単位」や「日単位」で提供される割合が増加。テナント事業者からの対策提案やより詳細なエネルギー消費量のデータ提供を期待する傾向が来夏も定着する見込み

- 今夏対策を実施したほとんどの事業所が、来夏も継続して取り組む意向

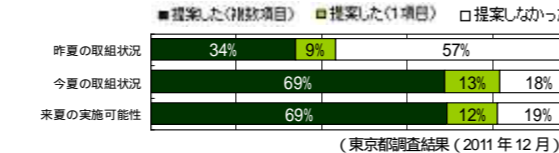
（参考）今夏の「賢い省エネ・節電対策」事例等

- ▶ 今夏は緊急の節電要請であったため、追加的に実施された施策は設備更新を伴わない運用対策が主であった。
- ▶ 一方で、これまで計画的に省エネ対策や「見える化」を進めてきた事業所では、全面的な空調温度設定変更などの対策によらず結果的に大幅な節電が実現できたところも存在

「テナントと協働した照明照度の見直し」、「空調温度について“設定”温度ではなく“実測”で管理」、「対策実施にむけた建物内での丁寧な合意形成」、「限られた電力の“使途”を検討し、空調温度は上げない代わりに“照明の見直し”で節電を実現」、「ICT の活用による徹底した“見える化”と効果的な節電対策の実施」など

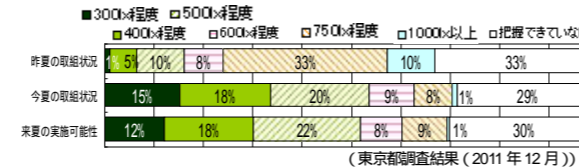
【テナントからオーナーへの節電対策提案】

- ・8 割のテナントが、オーナーへ節電対策を提案（昨夏は 6 割が未実施）
- ・8 割のテナントが来夏も提案する意向



【主要な居室（執務室）の平均的な照度】

- ・昨夏は 4 割のテナントが「750 ルクス程度以上」（1 割が「1000 ルクス程度以上」）
- ・今夏、5 割のテナントが「500 ルクス程度以下」に。
- ・「来夏での実施」：今夏と同程度の取組が継続される見込み



「小口需要家（中小規模事業所）」の取組状況

全体傾向

都条例「地球温暖化対策報告書制度」の報告書提出者：1099 事業者（企業）に送付（回答 484 事業者、回収率 44%）  
（テナントビル、オフィスビル（自社ビル）、サービス業、工場等の取組状況をアンケート）

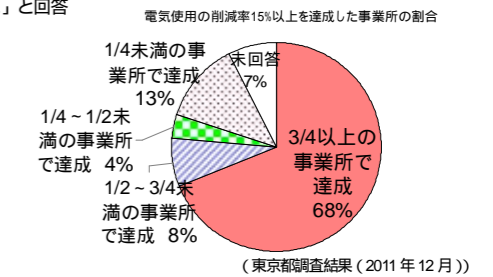
- 多くの事業所で照明照度の見直しが 実践
  - ▶ 照度も「従来の 750 ルクス以上」から「500 ルクス以下」へ
- 空調 28 を、大規模事業所同様、今夏多くの事業所が実践
- 今夏対策を実施したほとんどの事業所が、来夏も継続して取り組む意向
- 「サービス業系」や「工場」では、空調 28 について、お客様からの苦情や従業員・作業員の作業環境の面から、今夏の取組が困難であったという意見も。来夏での取組継続の意向も低い傾向

（主な意見等）

- ・照明の間引きは当初暗く感じたが、慣れると暗さを感じなくなった。
- ・テナントやお客様がとても協力的だった。  
（一部、理解が得られなかったという意見も有）
- ・空調機が古いため、28 設定では室温が 28 以上になり、従業員には負担をかけた。エアコンの性能によりオフィス内温度差が生じてしまう。うまく冷気を循環させるアイデアを発信してくれるとありがたい。
- ・無駄が多かったことに気がついた。節電意識が高まった。合理的なコスト削減ができ、収益改善にも役立った。など \* 対策実施による副次的効果も

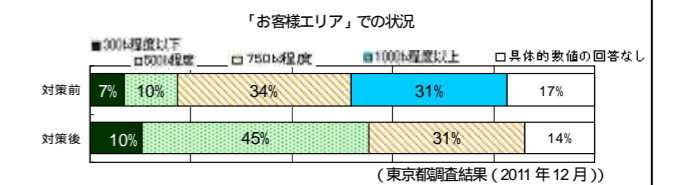
【昨夏と比べた使用最大電力 15%削減の実施状況】

- ・7 割の事業者（企業）が、所有・使用している事業所の「3/4 以上の事業所で 15%削減を達成」と回答



【「お客様エリア」での照明照度の見直し】

- ・「照度測定を実施した」と回答があった 29 事業者での状況
- ・対策前は 3 割存在した「1000 ルクス程度以上」の事業者が、対策後は 0% に。
- ・「500 ルクス程度」の事業者の割合が、対策前後で、1 割から 5 割に増加



「家庭」での取組状況や「街中での対策」への印象

「街頭アンケート調査」  
（5276 名に対して面談調査）

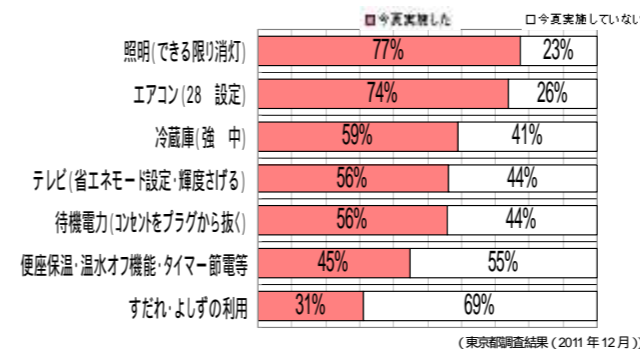
「家庭」での取組状況

- 【今夏】：7 割の家庭で、不要な照明の消灯やエアコン 28 が実践。「冷蔵庫の庫内温度設定の変更」や「テレビの省エネモード設定」、「待機消費電力の削減」の実施率も 6 割（4 割は今夏未実施<sup>1)</sup>）

1 これらの取組は、家庭の電力量(kWh)の削減(省エネ・省コスト)にも寄与する、「過大な負担を要しない取組」であるため、今冬も対策実施にむけた普及啓発を実施

- 【今後の取組継続】：「今夏、対策を実施した家庭」の 9 割が、「今後も取組継続」の意向

今夏の家庭における取組の継続

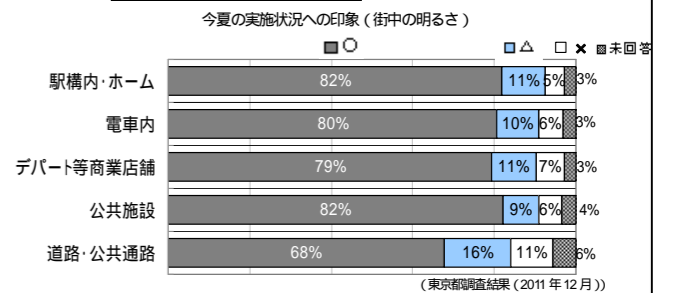


街中での対策への印象（街中の明るさ）

- 【今夏】：8 割以上が、「駅構内・ホーム」「電車内」「商業施設」等での照明の明るさ（照度の見直し）を支持（と回答）
- 「道路・公共通路」での支持率も 7 割存在するが、駅構内等の支持割合と比較して下がる傾向（支持度合いを とした回答も 2 割存在）

- 【今後の取組継続】：「駅構内・ホーム」「電車内」「商業施設」等での明るさについて、8 割が「今後も継続可能」と支持
- 「道路・公共通路」の照明の明るさ<sup>2)</sup>についての「継続可能」との回答は約 5 割となり、駅構内等での対策実施支持割合と比較して下がる傾向

2 「道路・公共通路」の照明について、来夏の継続への全体的な支持は低い傾向にあるが、これについては、「道路、または「公共通路」のいずれに対する意見が多いのが不明。今後の取組の参考情報とするためには、今冬実施する調査において、回答項目を分けるなどして行う予定





### 3. 今夏の節電対策の総括 ~ 今冬における「賢い省エネ・節電」対策の実施にむけて

#### 今夏の節電対策（総括）

この夏、東京で、「これまでの電気の使い方」が大きく見直された。

今夏、大規模事業所・中小規模事業所・家庭の各主体での果敢な取組により、大規模停電を起こすことなく、電力不足を乗り越えた。

都内の多くの事業所や家庭で、省エネ対策として提示されてきた取組が、従来にも増してより徹底して実施された。

- ▶ 照明照度の見直しがこれまでにない規模で実践 ~ 「従来の 750 ルクス以上」から、「500 ルクス以下」が主流に。
- ▶ 空調 28 も多くの事業所・家庭で実践 ~ 大規模事業所の“執務室”では、テナントエリアも含め 6 割を超える事業所で実践(昨夏の実施割合は 3 割)
- ▶ テナントビルでの省エネ対策も大きく進展 ~ テナントが自主的かつ積極的に対策実施  
特に大規模事業所では、多くのテナントがオーナーに対して節電対策を提案
- ▶ 今夏の街中での対策(照明の明るさや空調 28 等)について、多くの市民が支持
- ▶ 飲食店などのサービス施設においては、顧客の大きな協力・理解を得て節電を実践
- ▶ 多くの事業所や家庭では、今後も継続して取り組む意向

電力使用制限解除後も、昨年同時期比  
**約 10% (約 400 万 kW) 削減が継続中** (東電管内)  
秋季は、夏季に比べ冷房需要が少ないことから、事業所や家庭において、「照明照度の見直し」等が継続されていることが推定可能  
こうした取組の継続は、今後の省エネ・CO2 削減にも大きく寄与

老朽化した火力発電所の再稼働や臨時的な発電設備の増強等に依存している現状の電力供給力に課題  
地球温暖化問題への対応の重要性

負担のかかりすぎた一部の対策は今夏限りとし、  
気候変動対策 (CO2 削減) の観点も踏まえ、

「合理的な省エネルギー対策」を  
より一層推進していく。

・東京の経済や生活を支えるため、「エネルギー使用のスマート化」を図るとともに、事業継続のためのリスク管理の強化等も推進し、大幅な「省エネにもつながる節電」を実現

一方、一部負担の大きかった状況も確かに存在

- ▶ 大規模事業所(工場)では、5 割の事業所で「生産量の調整」を実施。なお、「節電対策実施による製品の品質や歩留まりの低下」については 8 割の事業所が「影響無し」と回答
- ▶ 「エスカレータの使用停止」も大規模事業所で多く実施されたが、来夏は 6 割の事業所で「実施予定なし」。
- ▶ 中小規模事業所(「サービス業系」や「工場」)では、空調 28 について、お客様からの苦情や従業員・作業員の作業環境の面から今夏の取組が困難だったという意見も。工場における夜間・早朝への作業時間のシフト等も周辺住宅との関係から実施は困難。最大取引先の輪番操業に合わせて、休日営業・平日休みを実施したが、他の取引先との調整に工夫を要した。
- ▶ 「駅構内・ホーム」での「エレベータ/エスカレータの運転台数の削減」について、今夏の取組に対する市民からの支持率は高いが、今後の取組継続への支持割合は下がる傾向。「電車内」での「空調 28」についても多くの市民が今夏の取組を支持しているが、今後の取組継続への支持割合はやや下がる傾向

#### 今冬における「賢い省エネ・節電」の実施にむけて

##### 「今冬」の電力需給状況

東電の今冬の電力供給力：最大 5,494 万 kW

東電管内では、「昨冬のピーク需要 (5,150 万 kW) を上回る電力供給力」が確保

他の電力会社で需給の逼迫が懸念されるが全国的には 2 ~ 3% の予備率  
東京電力については、東北電力等への応援融通も期待されている。

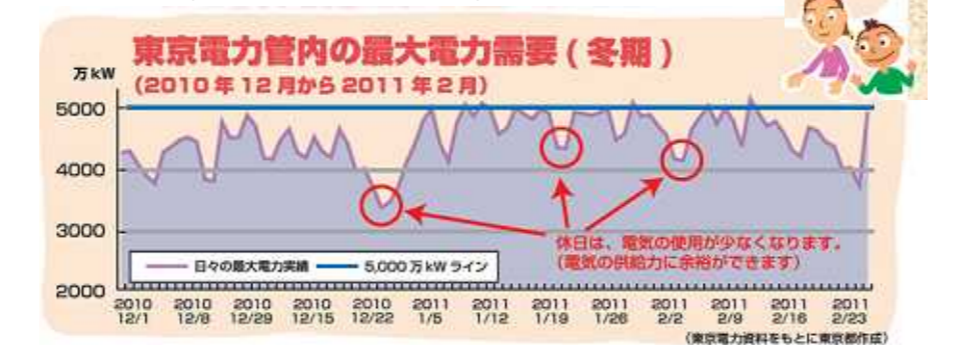
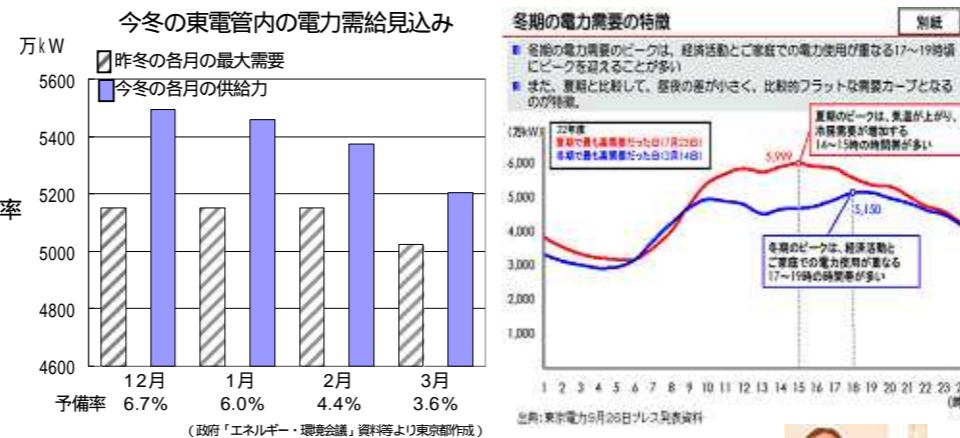
但し、老朽火力の緊急停止等の可能性もあるため、引き続き、節電の必要性あり。

##### 「昨冬」の電力需給状況

毎日の最大需要が「昨冬ピーク並み」ではない。  
電力需要が高いのはごく短期間

例えば、昨冬、東京電力管内の電力需要が 5,000 万 kW を超えたのは 7 日で、それぞれ数時間の間。  
(土日など休日は、平日と比べ、電力需要は少なくなる。)

一日中実施できる対策を行いながら、電力不足の懸念が案内される日には特にピーク時間帯での対策を行うなど、メリハリをつけた対策実施が有効



##### 今冬、事業所や家庭に推奨する主な対策

###### 事業所

1. 照明  
照明の間引きの継続  
作業に適した照度を確保 (作業面 (机上等) の照度は、300 ルクス以上 500 ルクス程度を目安に維持)
2. 空調  
「実際の室温」の管理 ~ 20 を下回らないように。  
部屋の中に、暑い場所と寒い場所がある場合には、サーキュレータ等で室内の空気をかき混ぜることを検討  
夕方以降や休日前はブラインドやカーテンを閉める。  
~ 室内の暖気を逃さないように。 など。
3. OA 機器の省エネモード設定の徹底
4. 電力消費量等の「見える化」の検討
5. 対策継続にむけた合意形成  
・対策継続に向けたテナントや従業員との情報共有など
6. 対策の優先順位の検討  
・「常時取り組む対策」と「緊急時の対策」などにわけて実施

###### 家庭

今冬も、「節電アドバイザー」が、各戸訪問等を実施

いちど設定するだけで、1 年中できる節電対策も。  
・「テレビの省エネモード設定」や  
・「冷蔵庫の庫内温度の設定変更」などを。

寒さは、「窓」から入ってくるのがほとんどです。  
・厚手で長いカーテンの利用などを。



# 今夏の節電対策に関するアンケート実施概要

## 1. 大口需要家 (1) 建物所有者の取組

(契約電力500kW以上の事業所)

### 【アンケート等実施概要】

- ・実施期間: 2011年9月22日～10月11日 (実施者: 東京都)
- ・対象者: キャップ & トレード制度対象事業所(建物所有者): 1298事業所に送付(回答521件、回収率40%)  
オフィスビル、テナントビル、商業施設、宿泊施設、教育施設、工場等
- ・調査: 今夏都が対策実施を推奨した「節電重点10対策」等の実施状況ほか(都は省エネにも資する対策の実施を推奨)

### 【参考: アンケート事項一覧】

分類	対策項目	質問内容	分類	対策項目	質問内容	
空調	温湿度の適正管理	平均的な設定温度(実際の室温でも可)は概ね何℃でしたか。	その他	洗浄便座暖房等の夏季停止	洗浄便座暖房等を停止しましたか。	
	空調時間の見直し	主要な居室の空調開始時間は、居室の使用開始時間の概ね何分前でしたか。		昇降機の一部停止	エレベーター及びエスカレーターの使用停止(ピーク時を除く。)をそれぞれの全台数に対してどの程度の割合で行いましたか。	
	外部負荷の低減	ブラインド類の効率的な運用対策を行いましたか。		オフィス機器等の適正使用	オフィス機器(コピー機、プリンター等)の使用制限を、オフィス機器の台数に対して、どの程度の割合で行いましたか。	
	熱源機器等の運転見直し	夜間や休日に、熱源群及び空調ポンプ群を停止してましたか。		発電機の利用	ピーク時に自家発電設備や、コージェネレーション設備の優先的な運転などを実施しましたか。	
	熱源機器等の運転見直し	電力ピーク時に、運転する熱源機器や空調用ポンプの一部を、強制的に停止する対策を実施してましたか。		時間等の対策	節電のために、業務時間をシフトする(ずらす)対策を行いましたか。	営業時間の短縮
	熱源機器等の運転見直し	電力ピーク時に、運転する熱源機器や空調用ポンプの一部を、強制的に停止する対策を実施してましたか。				休日の長期化
換気	ファン等の運転見直し	換気ファンの平均的な運転時間は概ね1日何時間でしたか。	その他	節電のために、業務時間をシフトする(ずらす)対策を行いましたか。	サマータイム	
		エレベーター機械室及び電気室の室内温度を30℃以上に設定してましたか。			夏の休憩時間	
照明	適切な照度管理	照明を、日中どの程度間引きしてましたか。	工場	工場の対策	営業日の変更	
		主要な居室の平均的な照度は、どの程度でしたか。			輪番休業	
		タスクアンビエント照明を導入しましたか。			夏季休暇	
高効率ランプへの交換	既存ランプより効率の良いランプへの交換又は更新を、照明の設置台数に対して、どの程度行いましたか。	使用制限期間中は昨年夏の使用最大電力等(基準電力)に対して、どの程度削減できましたか。	節電のために、生産量の調整を行いましたか。	節電対策の結果、製品の品質や歩留まりの低下はありませんでしたか。		
		主要な居室			東京都の「東日本大震災に伴う電力不足への対応に関する従量削減義務と排出量取引制度における特定温室効果ガス排出量算定に係る特例」を利用する予定はありませんか。	
		主要な共用部				
		駐車場				



# 1. 大口需要家 (2) 大規模事業所内のテナントの取組

(契約電力500kW以上の事業所内の大規模テナント)

## 【アンケート等実施概要】

- ・実施期間:2011年9月22日～10月11日 (実施者:東京都)
- ・対象者:キャップ & トレード制度における特定テナント等事業者:774テナントに送付(回答204件。回収率26%)
- ・調査:今夏都が対策実施を推奨した「節電重点10対策」等の実施状況ほか(都は省エネにも資する対策の実施を推奨)

## 【参考:アンケート事項一覧】

分類	対策項目	質問内容	
推進体制	オーナーとの協力	テナントからオーナーに節電対策を提案しましたか。	
	エネルギー使用量の見える化	(空調) オーナーから提供を受けた、テナントのエネルギー使用量などのようなものでしたか。	算出方法 提供単位
		(空調以外) オーナーから提供を受けた、テナントのエネルギー使用量などのようなものでしたか。	算出方法 提供単位
		オーナーから提供されたデータは節電に活用できましたか。	
空調	温度の適正管理	夏季の平均的な設定温度(実際の室温でも可)は、概ね何℃でしたか。	温度 範囲
	不要箇所の空調停止	空き室、不在時等にこまめに空調を停止しましたか。	停止方法 実施割合
		空調範囲が細分化されている場合、空調機スイッチに空調範囲を表示し、必要最小限の空調をしましたか。	
照明	不要箇所の消灯	使用していない場所をこまめに消灯しましたか。	消灯方法 実施割合
		照明範囲が細分化されている場合、照明スイッチに照明範囲を表示し、必要最小限の照明をしましたか。	
	不要時の消灯	昼休み等に消灯を実施しましたか。	消灯時間 エリア
	適正な照度管理	照明を、日中どの程度間引きしていましたか。	消灯程度 照度 タスクライト
コンセント	待機電力の削減	コンセント機器について、不要時にコンセントを抜きましたか。	
	省エネモードの設定	パソコン、FAX、コピー機、プリンタ等について、省エネモードに設定しましたか。	
	トイレ便座暖房等の夏季停止	夏季にトイレ便座暖房等を停止しましたか。	洗浄便座暖房 便所洗面器給湯 エアタオル

## 2. 小口需要家 (契約電力500kW未満の事業所)

### 【アンケート等実施概要】

- ・実施期間:2011年10月7日～21日 (実施者:東京都)
- ・調査:今夏実施した対策等の状況と今後(来夏)の対策継続の可否等

調査対象	中小規模事業所に対する「地球温暖化対策報告書制度(都条例)」の報告書提出事業者(1099事業者(企業))に送付 1 提出義務者+任意提出者に送付 2 延べ約30,000事業所(建物・テナント)が対象 (1事業者(企業)は平均約70事業所(建物・フロア)の所有・使用分を都制度上で報告(なお、コンビニ等8事業所は1事業者(企業)平均約1100事業所分を報告)				
回答数	484事業者(回収率44%) (参考:調査票の提出は「1事業者(企業)」につき「1件の回答」を依頼) ・事業者(企業)には、大口需要家の対象施設を所有している場合がある。このため、「小口需要家」での取組状況を把握するためには、大口需要家での対策状況を分離して把握することが必要。従って、大口需要家対象施設を有する場合には「大口」として実施状況の回答を依頼。「大口需要家」の対象施設がない場合には、「小口需要家」または「テナント」としての回答を依頼 「小口」としての回答が6割 ・また、1事業者(企業)では、オフィス・テナント・サービス業・工場など、複数の建物用途の事業所を管理・使用している。このため、回答に当たっては最も事業所数の多い建物用途での実施状況について報告を依頼				
	使用・管理する建物用途	回答者数	うち、「回答した「事業所」のカテゴリー		
			「大口」契約	「小口」契約	テナント等(電力契約無)
	テナントビル	121(25%)	49(本用途全体の41%)	67(本用途全体の55%)	5(本用途全体の4%)
	事務所	148(31%)	30( " 20%)	85( " 58%)	33( " 22%)
	サービス業(卸・小売、量販店、飲食店等)	87(18%)	23( " 26%)	51( " 59%)	13( " 15%)
	工場	75(15%)	20( " 27%)	53( " 71%)	2( " 2%)
	その他(福祉施設、学校等)	53(11%)	21( " 39%)	29( " 55%)	3( " 6%)
	計	484(100%)	143(全体の30%)	285(全体の59%)	56(全体の12%)

↑ 今回は「小口」の状況を分析



## 2. 小口需要家 【参考：アンケート事項一覧】

削減	対象事業所のうち電気使用の削減率15%以上を達成した事業所の割合		多くの事業所で達成(3/4以上) 半数以上の事業所で達成(1/2以上3/4未満) 半数未満の事業所で達成(1/4以上1/2未満) 多くの事業所で達成しなかった(1/4未満)
	照明	従業員等利用エリア	運用・管理対策
間引き点灯(消灯率1/2程度) 今夏実施 来夏継続の可否			
間引き点灯(消灯率1/4程度) 今夏実施 来夏継続の可否			
点灯時間の変更・短縮 今夏実施 来夏継続の可否			
その他 今夏実施 来夏継続の可否			
入設備策		高効率器具の導入(LED化) 今夏実施	
高効率器具の導入(HF化) 今夏実施			
照明制御の導入(人感・明るさセンサー) 今夏実施			
照度測定の実施の有無		照度測定の実施の有無	
「有り」の場合:対策前の照度の値と、対策後の照度の値			
お客様等利用エリア	運用・管理対策	間引き点灯(消灯率3/4程度) 今夏実施 来夏継続の可否	
		間引き点灯(消灯率1/2程度) 今夏実施 来夏継続の可否	
		間引き点灯(消灯率1/4程度) 今夏実施 来夏継続の可否	
		点灯時間の変更・短縮 今夏実施 来夏継続の可否	
		その他 今夏実施 来夏継続の可否	
	入設備策	高効率器具の導入(LED化) 今夏実施	
	高効率器具の導入(HF化) 今夏実施		
	照明制御の導入(人感・明るさセンサー) 今夏実施		
	照度測定の実施の有無	照度測定の実施の有無	
	「有り」の場合:対策前の照度の値と、対策後の照度の値		

空調	従業員等利用エリア	運用・管理対策	空調設定温度維持(29℃以上) 今夏実施 来夏継続の可否
			空調設定温度維持(28℃) 今夏実施 来夏継続の可否
			空調設定温度維持(27℃以下) 今夏実施 来夏継続の可否
			空調運転時間の変更・短縮 今夏実施 来夏継続の可否
			外気導入量の変更 今夏実施 来夏継続の可否
	入設備策	設備策	室外機管理(冷却・障害物除去等) 今夏実施 来夏継続の可否
			その他 今夏実施 来夏継続の可否
			来夏継続が困難な対策がある場合その理由
			高効率機器の導入 今夏実施
			その他 今夏実施
お客様等利用エリア	運用・管理対策	設備策	空調設定温度維持(29℃以上) 今夏実施 来夏継続の可否
			空調設定温度維持(28℃) 今夏実施 来夏継続の可否
			空調設定温度維持(27℃以下) 今夏実施 来夏継続の可否
			空調運転時間の変更・短縮 今夏実施 来夏継続の可否
			外気導入量の変更 今夏実施 来夏継続の可否
	設備策	設備策	室外機管理(冷却・障害物除去等) 今夏実施 来夏継続の可否
			その他 今夏実施 来夏継続の可否
			来夏継続が困難な対策がある場合その理由
			高効率機器の導入 今夏実施
			その他 今夏実施
その他	※該当設備がある場合 エレベータ、エスカレータ、自動販売機での対策 その他の設備での対策		
全般	今夏の節電対応により生じた問題(複数回答可) 特に問題なし、売上への影響、生産量への影響、サービスの質への影響、製造品質への影響、お客様・取引先からの苦情、従業員への負担、その他		
	節電対策全般を振り返っての意見・感想(自由意見)		

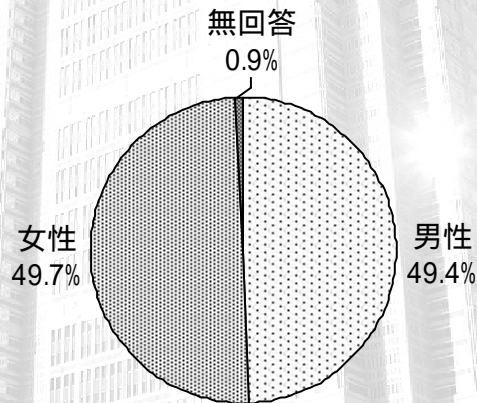
# 3. 「街頭アンケート調査」

## 【アンケート等実施概要】

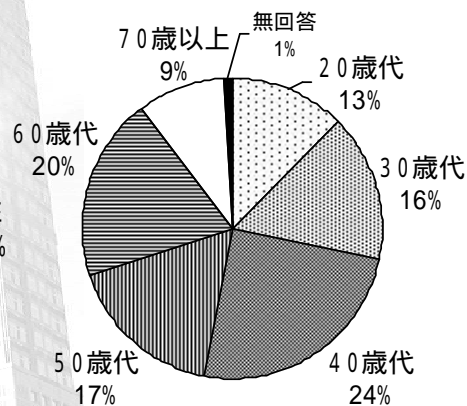
- ・実施期間: 2011年10月中旬～11月上旬 (実施者: 東京都)
- ・調査: 今夏、「家庭」で実施した対策と今後の対策継続の可否  
今夏の「街中」での節電対策に関する印象と、今後の対策継続の可否
- ・回答者数: 市民5276名に街頭で面談調査

### < 回答者の属性等 >

**男女比**  
半数ずつ

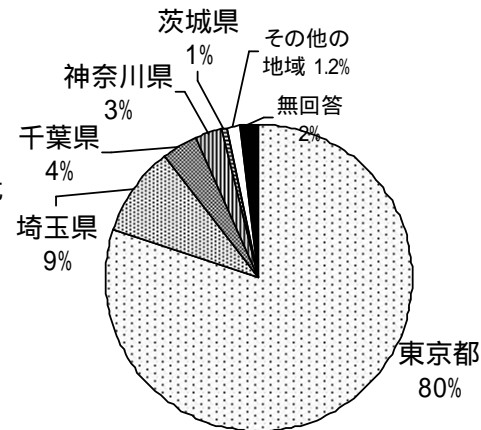


**年代**  
40代と60代で約5割



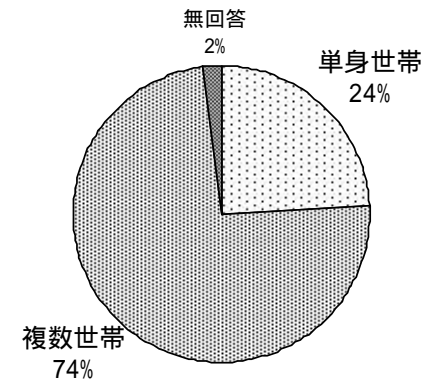
### 居住地

8割が都内。ほぼ全てが、  
近県を含めた首都圏在住者



### 世帯構成

複数世帯が7割。単身が2割  
(全国の状況に類似。都内の場合、  
単身世帯の割合が4割)



### 3. 「街頭アンケート調査」【参考：アンケート事項一覧】

家庭での節電の取組

家庭の節電対策メニュー		今夏実施	今後の取組の継続		
			継続できる	やや困難	非常に困難
エアコン	・室温設定は、夏 28 を心がける (扇風機を併用すると涼しく感じる) 10%削減				
	・夏は、“すだれ”“よしず”で窓からの日差しを和らげる(冷房の消費電力を下げる) 10%削減				
照明	・日中は照明を消し、夜間の点灯も最小限にする 5%削減				
テレビ	・省エネモードや画面の輝度を下げる設定にして不要な時は消す 2%削減				
待機電力	・本体の主電源を切る。長時間使わない時は、プラグをコンセントから抜く 2%削減				
温水洗浄便座	・便座保温・温水オフ機能、タイマー節電等を活用 ・上記の機能がなければ、プラグをコンセントから抜く いずれかの対策で 1%未満削減				
冷蔵庫	・冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰めこまないようにする 2%削減				

街中での節電の取組

各シーンでの許容度	照明の明るさ				エレベーター/エスカレーターの 運転台数の減少				空調温度 (冷房 28 設定)			
	今夏の取組 x	継続可能	やや支障	非常に支障	今夏の取組 x	継続可能	やや支障	非常に支障	今夏の取組 x	継続可能	やや支障	非常に支障
駅構内、ホーム												
電車内												
デパート等商業店舗												
公共施設												
道路、公共通路												

アンケート調査項目毎の回答状況は、後日、東京都環境局ホームページで公表



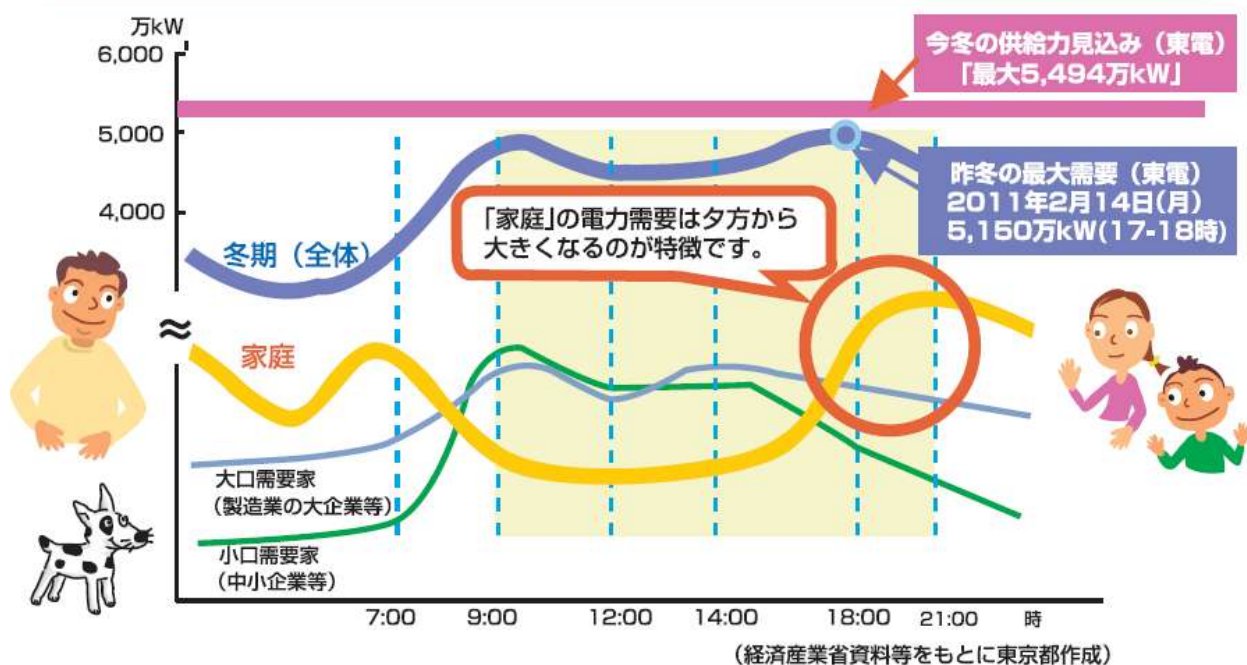
この冬も

# 見直してみましよう 電気の使い方



夏の節電の経験を活かして、この冬以降も、『無理なく賢い』節電ライフを続けてみませんか。

## 冬期の平日の電気の使われ方（イメージ）



### 冬と夏は、電気使用のピーク時間帯が違います

冬の1日の電気使用のピークは午後5～6時頃（参考：夏は午後2時頃）  
家庭の電力使用は、夕方から大きくなるのが特徴です。



東京電力の今冬の電気の供給力は、今夏のように不足している状況ではありません。しかし、ご家庭での節電は、東日本全体での電気の安定供給の確保にもつながります。地球温暖化対策も考え、省エネにもつながる「賢い節電」を続けていきませんか。

東京都



クール・ネット東京（東京都地球温暖化防止活動推進センター）



**電力需要の大きさは季節や気温等によって波があり、1年の中で夏の次に大きくなるのが冬です。しかし、毎日の最大電力需要が、昨冬のピーク並みの大きさになるわけではありません。電力需要が高いのはごく短期間です。**

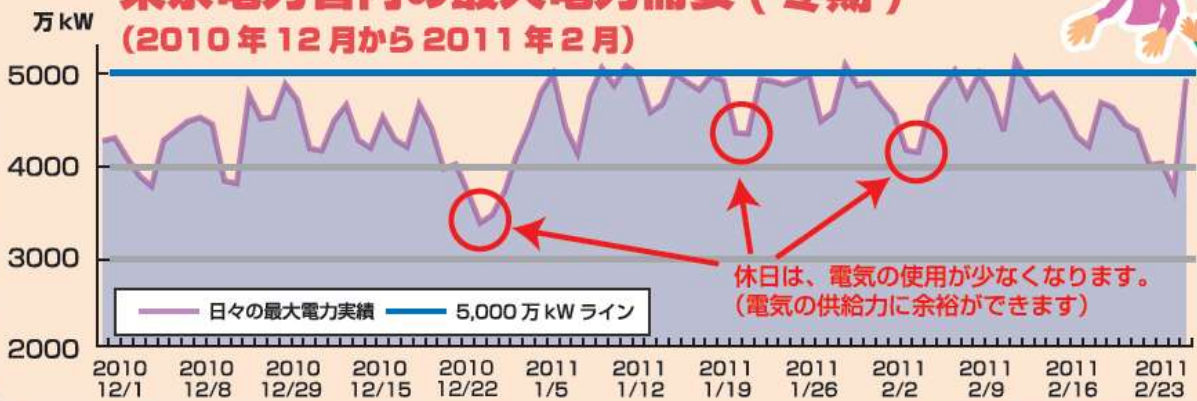
※今冬の供給力は「昨冬の最大電力需要+予備」の大きさが確保されています。

- 例えば昨冬、東京電力管内の電力需要が5,000万kWを超えたのは7日で、それぞれ数時間の間でした。土日など休日は、平日と比べ、電気の使用量は少なくなります。
- このため、一日中できる無理のない節電を行いながら、電力不足の懸念が案内される日には、特にピーク時間帯での節電を行うなど、「賢い節電」に取り組んでいきましょう。



### 東京電力管内の最大電力需要（冬期）

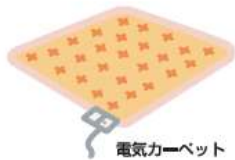
（2010年12月から2011年2月）



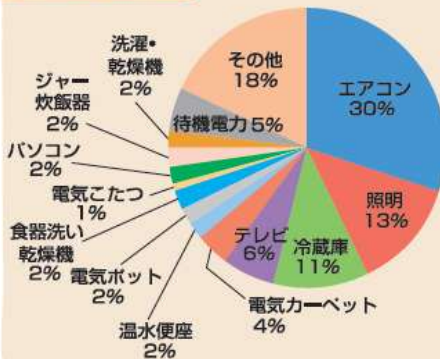
（東京電力資料をもとに東京都作成）

## 家庭における冬の夕方の消費電力

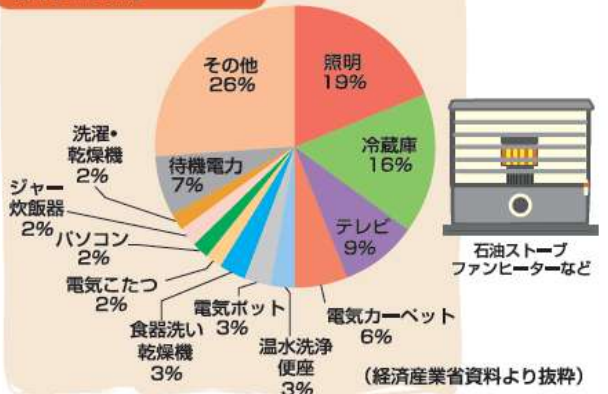
### 家庭における冬の夕方（19時頃）の消費電力（例）



通常、エアコンを使用される家庭



通常、ガス・石油ストーブを使用される家庭



## ご家庭での節電のための3つの方法



**減らす**

家電製品を省エネモードに変更。  
使わないときは、プラグをコンセントから抜く。



**ずらす**

電気使用が多い時間帯を避ける。  
定格電力の大きい家電製品の同時使用を避ける。



**切替える**

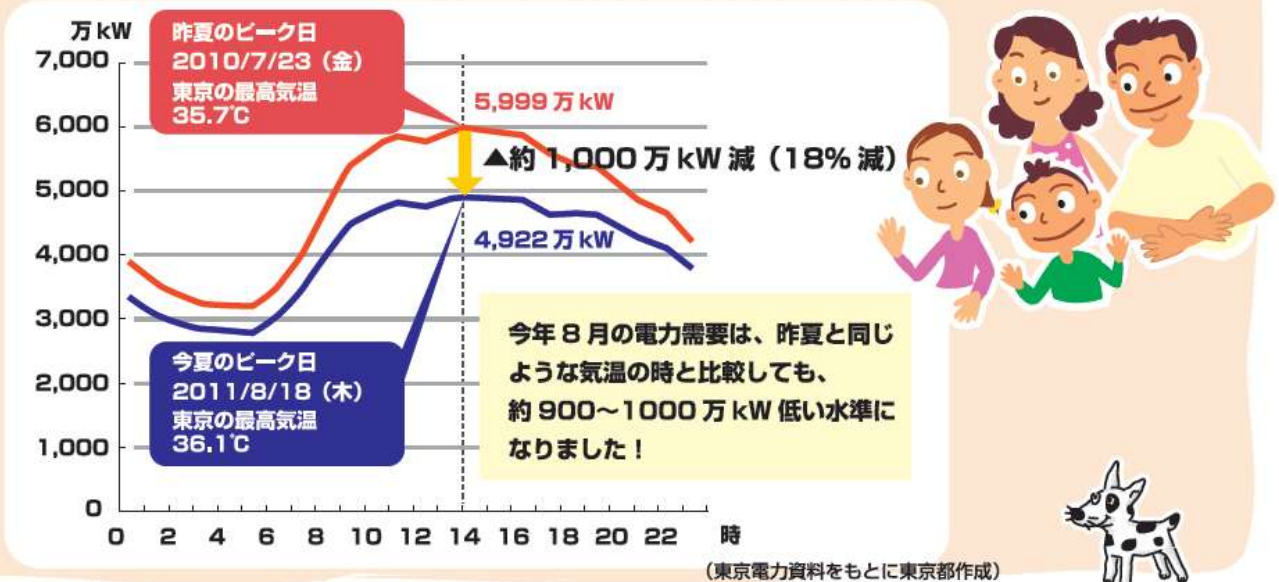
他の方法に切り替える。  
・省エネ型製品への買い替えの検討  
・太陽光発電など自然エネルギーの利用  
・家電製品を使用しない方法の検討



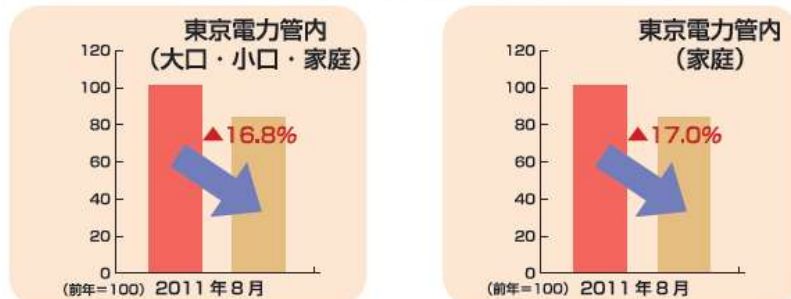
# ■今夏の節電、こんなに効果。 改めてご協力ありがとうございました！

- ◇ 昨年より暑かった日でも、節電の効果で電力不足にはなりませんでした。
- ◇ 今年8月の電気使用量は、昨年に比べて15%以上削減されました。

## 昨夏と今夏の電力需要（最大需要発生日）の比較



## 首都圏の2011年8月の電気使用量(kWh)の対前年比実績



\*「今夏の家庭の節電効果」は「6%」と見たけれど？ →「家庭での削減が不十分」なのではありません。

今夏の節電の結果として、「家庭は6%」という数字が報道されました。その数字は、最大需要発生日(8月18日)の「14時頃」での「推計値」です(実績値は不明)。そもそも夏季の最大ピークが発生する「14時台」は、「家庭」よりも「事業所での事業活動」による電力消費の割合が高いため、事業所による節電効果が大きくてできます(「家庭」の夏の電力消費のピークは20時頃)。また、今夏の節電は「9時から20時までの計11時間」という長時間での取組であるため、「14時台」の数字だけで「節電効果」を説明することはできません。このため、「家庭」での電力消費削減努力の結果をみる際には、「14時台」の数字だけではなく月間の電力消費量もみたほうが適切であると考えます。「家庭」の8月の電力消費量は昨年比約17%も削減されています。今夏のご家庭での対策効果はとて大きかったです。

## エアコンなど冷暖房以外に1年中できる節電対策もあります。



いちど変更するだけで長く節電できること。  
改めて取り組んでみませんか。

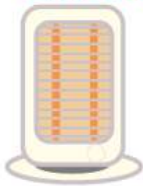
テレビの明るさを抑える、省エネモードに設定する  
冷蔵庫の温度設定を、季節に合わせて「中」「弱」に変更する  
白熱球を電球形蛍光灯やLED電球に交換する





## リビング・居室

### 暖房器具



暖房の設定温度は 20℃を目安にする  
エアコン

53.1kWh 削減 (1,210 円)

ガスファンヒータ

8.2m<sup>3</sup> 削減 (960 円)

石油ファンヒータ

10.2L 削減 (750 円)

電気カーペットの設定温度は強から中にする

186kWh 削減 (4,250 円)

電気カーペットは必要な部分だけ温める

89.9kWh 削減 (2,060 円)

電気カーペットやこたつの下にアルミ断熱シートを敷く

### 照明



日中は照明を消して点灯も最小限にする

白熱電球は、電球形蛍光灯や  
LED 電球に交換する

84.0kWh 削減 (1,920 円)

### テレビ



省エネモードや画面を明るすぎないように設定する

29.9kWh 削減 (680 円)

不要な時は消す

液晶 37 インチを 1 日 1 時間消すと

40.4kWh 削減 (920 円)

### 豆知識

暖房のガマンしすぎは風邪のもと・・・20℃設定は「目安」です

### 冬はインフルエンザの流行にも注意が必要です

- ・乾燥しやすい室内は 50 ～ 60%の適度な湿度を保ちましょう。
- ・帰宅時には手洗い、うがいをしましょう。  
一般的な感染症予防にも効果的です。
- ・身体の抵抗力を高めるため、十分な休養とバランスの取れた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。



### 豆知識

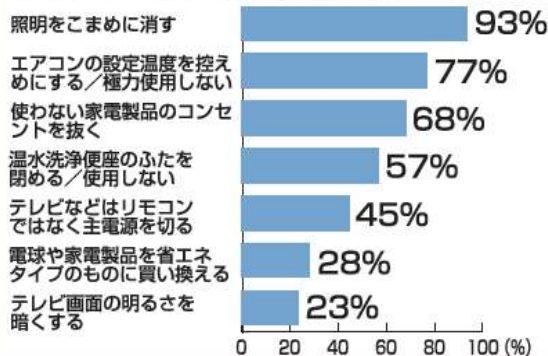
## 夏の節電、どうだった？

節電意識が高まった！もう少し、  
できることもあるみたい

- 夏の電力不足を受けて、多くの家庭で節電対策が実施されました。
- アンケート結果によると、例えば「テレビ画面の明るさを暗くする」の取り組み状況は 23%。ひと手間かかっても、一度の設定で、ずっと節電できる効果的な対策です。

さっそく試して節電の達人に近づきましょう★

日常のくらしの中で心がけている節電



「節電とエネルギーに関するアンケート結果報告」  
(2011 年 8 月 公益財団法人生活協同組合総合研究所) より抜粋

※削減効果の記載値は、年間の省エネ効果（電力消費などの削減量と光熱費の節約効果）です

(出典)「家庭の省エネハンドブック」東京都





# きる対策に取り組みましょう

くさんあります。できることに  しましょう

## サニタリー



温水洗浄  
便座  
(暖房便座)

- 使わない時は、電気便座のフタを閉める 34.9kWh 削減 (800 円)
- 便座保温・温水の温度は低めに設定し、タイマー節電などの機能を活用する



洗濯  
乾燥機

- 容量の 80%程度を目安に、まとめて洗濯する
- 乾燥機能の使用は控え、お陽さまで干してみる



掃除機

- 紙パック式はこまめにパックを交換する



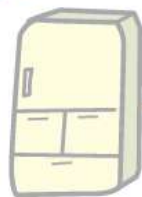
### 豆知識

### 節水することも節電になります

節水すると浄水処理や下水道処理に必要な電力が減ることになるので節電になります。料理や洗いもの、洗濯の時に節水を心がけたり、シャワーの時間もなるべく短くしましょう。



## キッチン



冷蔵庫

- 設定温度を冬期は「弱」にする 61.7kWh 削減 (1,410 円)
- ものを詰めこみすぎない 43.8kWh 削減 (1,000 円)
- 無駄な開閉をしない 10.4kWh 削減 (240 円)
- 壁から適切な間隔で設置する 45.1kWh 削減 (1,030 円)

ジャー炊飯器  
(電気炊飯器)

- 早朝にタイマー機能で 1 日分まとめて炊き、冷蔵庫に保存する
- ご飯はガスで炊くこともできる

電子レンジ

- 暖めなおしにはグリルの活用もできる

電気ポット

- お湯はガスコンロで沸かし、ポットの電源は切る
- 長時間の保温はやめる

継続的な節電・省エネは、電気使用量の削減につながります  
去年の電気使用量と比べてみましょう (節電効果の確認方法は、P10 参照)



# もっと知りたい！冬の暖房

## ◎タイプいろいろ 家庭で複数つかう暖房器具

- 冬の暖房の特徴は、夏場のエアコンや扇風機に比べてバラエティが多いこと。  
電気だけでなく灯油、ガスなど様々な暖房器具が使われ、複数を併用するパターンも。
- 暖房器具それぞれの効果的な使い方について考えてみましょう。

### 電気の暖房



#### ● エアコン

暖房でも一番よく使われるエアコン。ヒートポンプ技術により少ないエネルギーで暖めることができるので、リビングなど過ごす時間が長い部屋には適しています。

#### ● 電気カーペット

エアコンに次ぐ使用率で多く使われています。必要最小限のスペースだけ温め、下にアルミ断熱シートを敷くなど熱を逃がさない工夫をしてみましょう。

#### ● 電気こたつ

電気カーペットと同様、下にアルミ断熱シートを敷くなど、熱を逃がさない対策が効果的です。

#### ● 電気ストーブ・オイルヒーター等

電熱で暖める機器は消費電力や電気使用量が多くなります。広い部屋全体を暖めるより、足元など局所暖房に使うのに向いています。

### 暖房器具の省エネの基本

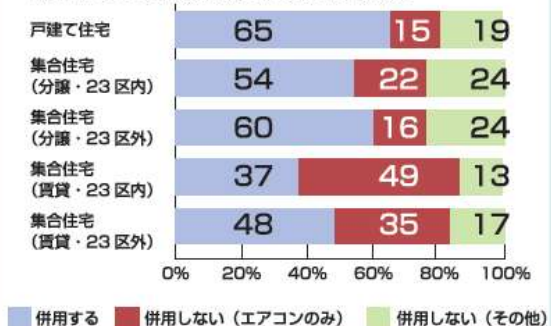
- ◎ 複数の暖房器具を使う場合は特徴をいかした使い方を
- ◎ 外出や寝る 20 分前にスイッチオフ
- ◎ 窓には厚くて長いカーテンをかけると、暖房効果アップ

### 暖房器具の併用状況

戸建住宅では 6～7 割の家庭が複数の暖房を併用しています。

23 区内の集合住宅（賃貸）では、半分近くがエアコンのみの利用となりますが、なお 37%の住宅では複数の器具が併用されています。

居間での暖房器具の併用状況（東京の例）



出展：日本建築学会学術講演梗概集 2010年9月

### その他の暖房

#### ● 灯油ファンヒーター

朝起きた時や帰ったばかりなどに、すぐに部屋が暖まります。エアコンと併用の場合は、部屋が暖まったら消し、エアコンだけで暖房すると換気も不要で効率的。

#### ● ガスファンヒーター

灯油ファンヒーターと同様すぐに暖まります。お部屋にガス栓がない場合は増設することもできます。



## 灯油やガスの暖房を使うときは、換気に注意が必要です！！

- 灯油やガスの暖房器具は、家の中の空気を使って燃焼するため必ず換気が必要です。
- 換気を忘れて新鮮な空气が不足すると、一酸化炭素中毒につながる危険があります。
- 1 時間に 1 回以上 5 分程度窓を開けるか、時間を決めて換気扇を回すなど、こまめな換気を心がけましょう。

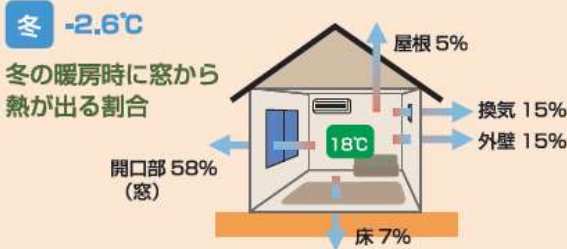




## ◎寒さはどこから入ってくるか知っていますか？

冬に暖房の熱が逃げていくのも、夏に冷房をしているとき室内に熱が入ってくるのも、その大半は「窓」から。住宅の断熱も寒さを防ぐ大きなポイントです。

### 冬の暖房時には熱の58%が開口部（窓）から出ます



(出典)：「住宅の省エネルギーガイドブック」  
東京都都市整備局、社団法人日本建材・住宅設備産業協会

とく まど じゅうよう  
特に窓が重要！



具体策としては・・・

### ●断熱性能のアップ！

- 厚手で長いカーテンをつける
- 窓ガラスに断熱フィルムを貼る
- 窓ガラス、サッシ、ドアを断熱性・気密性の高いものに取り換える
- 壁や天井・屋根、床など外気に触れる部分に断熱材をいれる
- 屋根・天井、壁の断熱材の室内側に気密シートを設置する
- 換気も忘れずに

## 窓の断熱改修、外壁、天井・屋根 又は 床の断熱改修は、国の住宅エコポイントの対象です

- リフォーム工事の内容に応じて2千～10万ポイントが付与されます
- 工事対象期間（着工又は工事着手）  
リフォームの場合、平成23年11月21日～平成24年10月31日
- ポイント発行申請期間 平成24年1月中旬（※調整中）～  
リフォームの場合、原則として平成25年1月31日

※詳しくは国土交通省のHPをご覧ください <http://fukko-jutaku.eco-points.jp/>

## 冬 ちょっとした工夫で、身も心も、そしておサイフもあたたかくなりますよ。

### 衣類の工夫

暖房の設定温度を1℃上げる前に、厚手の靴下をはく、カーディガンをはおる、ブランケットやひざかけを利用するなど、ひと工夫してみましょう。

また、寒い季節、衣類で効率よく身体を温めるには3つの首（首・手首・足首）がキーワード。これらは皮膚が薄く、温めるとその皮膚下を流れる血流も同時に温まり、その血流が身体全体に流れることで身体全体が温まると考えられています。ハイネックの洋服やレッグウォーマー等を活用しましょう。

### 冬の衣類（素材）

ウールやアクリル、絹が保温性に優れています。また、最近、開発された身体の水分（汗）を吸収して発熱する素材も保温効果が高くオススメです。

### 湯たんぽ

ふとんの中でもポカポカ湯たんぽ。自然な温かさがあり、腰や足など温めたい部分にあてることができます。電源不要でどこへでも持ち運び出来るので、リビングでくつろいでいる時や屋外でのキャンプなどで、ちょっと冷えてきたな、という時にも活躍してくれます。（栓をしっかり締めてお使い下さい。）

### 一枚プラスで体感温度UP!



ひざかけ  
+2.5℃



カーディガン  
+2.2℃



ソックス  
+0.6℃

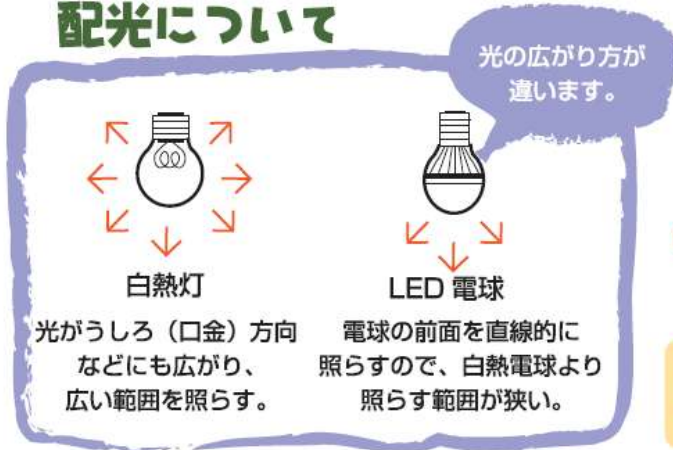


# もっと知りたい！LED照明

## ◎どうやって選べばいいの？ 照明買い換え時の注意点

- 白熱電球は、LED電球や電球形蛍光灯に取り替えましょう。
- 買換えの時は、電球の明るさや口金のサイズをチェック！  
LED電球の明るさの基準は、ルーメン (lm) で統一されています。

### 配光について



同じソケットに取り付けられます。  
色味も電球色、昼白色、昼光色の3種類。

ただし、調光機能付照明や密閉形の照明には、使用出来ない物もあるので、カタログやパッケージで確認しましょう。

### ポイント1 明るさをチェック 電球形蛍光灯はワット数 (W)・LED電球はルーメン (lm) 値

ルーメン (lm) はランプから出る光量を示す単位で、数値が大きくなるほど明るくなります。

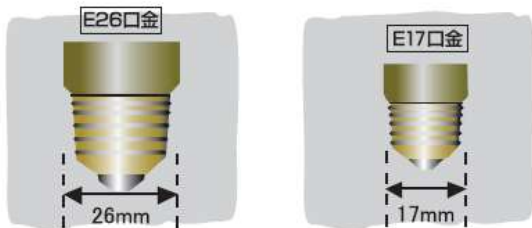
#### 明るさの目安

	白熱電球	電球形蛍光灯	LED電球 (E26口金)	LED電球 (E17口金)
区分	W形	W形	全光束 (ルーメン)	
明るい ↑	100W形	25W形	1520 lm	1430 lm
	60W形	15W形	810 lm	760 lm
	40W形	10W形	485 lm	440 lm
暗い ↓	25W形	—	—	230 lm

(出典) (社)日本電球工業会ガイドライン

### ポイント2 口金のサイズをチェック

口金のサイズは、大きく分けてE26口金とE17口金の2種類。取付口に合わせたサイズを選びましょう。



## LED照明は、電球以外にもラインナップが充実

旧式の蛍光灯器具 (シーリングライト) を長年使用し器具の交換をお考えなら、長寿命・高効率なLEDシーリングライトやHf蛍光灯器具も検討してみましょう。20%節電の場合も。

天井に引掛シーリングが付いていれば、ほとんどのLEDシーリングライトやHf蛍光灯器具は簡単に取り付けられます。

#### 引掛シーリングの例



【明るめ10畳タイの比較例】  
旧式の環形蛍光灯器具  
消費電力 120W (30W×4灯)

約20%節電

LEDシーリングライト 消費電力 92W  
Hf蛍光灯器具 消費電力 97W

(出典) 「住まいの照明省エネBOOK2011年度版」(「あかりの日」委員会編)

## 直管形LEDランプ購入時の注意点

ランプだけをLEDに交換する場合、直管形では口金があっても器具の種類が合わないと使用できません。器具とランプを正しく組み合わせないと、点灯しない、消費電力が大きい、故障するといった不具合がおきる恐れがあります。直管形蛍光灯を直管形LEDランプに交換する際には、ご家庭の器具の種類を確認した上で、ランプの種類や取付け上の注意を販売店や説明書などで確認し、安全に使用しましょう。



(参考) 東京都生活文化局HP

[http://www.anzen.metro.tokyo.jp/tocho/caution/led\\_ramp.html](http://www.anzen.metro.tokyo.jp/tocho/caution/led_ramp.html)





## ◎よく言われるテレビの節電、どれだけ効果あり？

- 見ていないときは消す。基本のことに取り組むと、我が家のテレビでは、どれだけの効果になるでしょう。消すときは、リモコンではなく本体の主電源をお忘れなく。
- 省エネモードや明るさの設定って、どうやったら変更できるのでしょうか。操作方法の一例をご紹介します。

### ◀テレビの節電対策と効果▶ 数値は年間

#### ○見ていないテレビは消す

(1日1時間消したときの年間の効果)

ブラウン管 32 インチ

液晶 20 インチ

液晶 37 インチ

プラズマ 37 インチ

#### ○テレビ画面は明るすぎないように設定する

#### ○テレビの音量は不必要に大きくしない

	 kWh	 家計のオトク
省エネ効果		
ブラウン管 32 インチ	45.7kWh	1,040円
液晶 20 インチ	15.0kWh	340円
液晶 37 インチ	40.4kWh	920円
プラズマ 37 インチ	47.1kWh	1,080円
テレビ画面は明るすぎないように設定する	29.9kWh	1,080円
テレビの音量は不必要に大きくしない	2.5kWh	60円



### ◀ テレビの節電機能の設定方法の例 ▶

(液晶テレビ画面の明るさを抑える場合の一例)

リモコンの **オプション** ボタンを押す

画質、音質等の設定画面が開く

**消費電力** を選択

**減(明)** **減(暗)** などに変更

注) メニューやホームボタンを押してから、各種設定や機能設定を選ぶなど、省エネモードの設定方法は機種により異なるため、詳細は取扱説明書をご確認ください

## 【番外編】 省エネは電気だけじゃない・・・実は多い給湯のエネルギー

- 家庭で使われるエネルギー。電気だけでなくガスや灯油も含めた家全体の消費量では、じつに 1/3 を給湯用の熱が占めています。
- あたたかいお風呂が恋しい季節、お湯の省エネにも取り組んでみましょう。



### ここが省エネポイント 数値は年間

水から沸かすより給湯式でお湯張りをする

お風呂は間隔をあけずに続けて入る

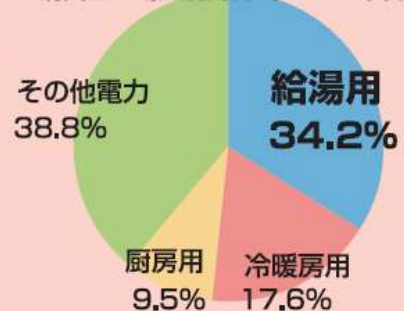
お風呂のふたを閉める

こまめにシャワーを止める

	 m <sup>3</sup>	 家計のオトク
省エネ効果		
水から沸かすより給湯式でお湯張りをする	34.1m <sup>3</sup>	3,980円
お風呂は間隔をあけずに続けて入る	13.2m <sup>3</sup>	1,540円
お風呂のふたを閉める	17.6m <sup>3</sup>	2,060円
こまめにシャワーを止める	12.8m <sup>3</sup>	1,500円



都における家庭部門のエネルギー消費量の用途別割合 (2008 年度)



東京都では、太陽の熱で給湯ができる太陽熱利用システムやガス発電給湯器、燃料電池を導入する家庭への補助を実施しています。⇒詳しくは、P11 をご覧ください



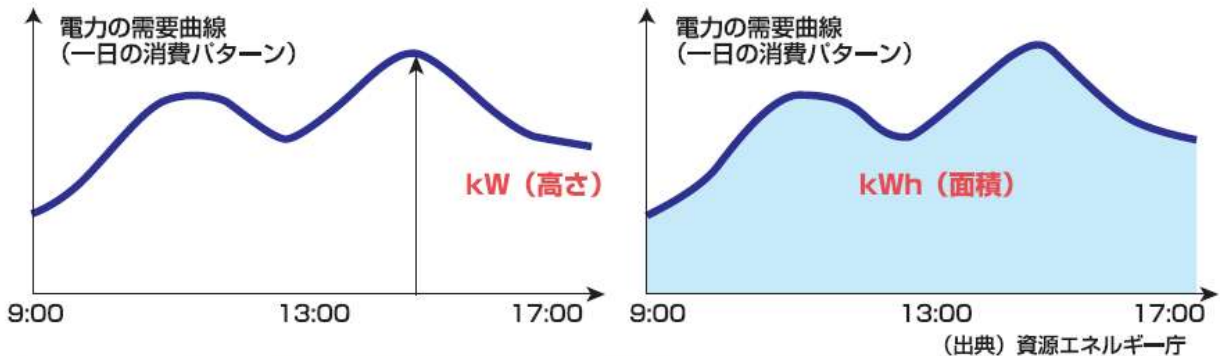
# もっと知りたい！効果の確認方法

## ◎電力（kW）と電気使用量（kWh）の違い

家電製品は電気で動きます。その力の大きさが電力（kW）。発電や電気の消費の瞬時瞬時の大きさと、グラフの高さで示しています。

一方、電気の使用量を表しているのが電力量（kWh）。発電や電気消費の総量で、グラフの面積で示しています。

※電力（kW）×時間（h）＝電気使用量（kWh）



電力不足に対応する節電は、特にピーク電力（kW）の削減が求められていますが、毎月のお知らせでわかる電気使用量（kWh）を参考に省エネにもつなげる節電に取り組みましょう。

## ◎どれだけ節電できたか知りたい！～節電効果の確認方法～

毎月届く電気の使用量のお知らせには、昨年と同じ月の使用量が記載されているので、今年の使用量と比較することができます。

また、前年同月と比較して使用量が減少した場合は減少率も記載されているので、節電効果の確認の参考としてチェックしましょう。

- 原則として、前年同月と比較して使用量が減少した場合のみ減少率が記載されます。
- 引越や契約変更などをしたときは、表示されない場合があります。
- 高圧の契約をしている場合、原則として表示されません。

毎週ご利用いただきありがとうございます

電気ご使用量のお知らせ

ご使用場所

23年 8月分 ご使用期間 7月12日～ 8月 9日 検針日 8月10日 (29日曜)

ご契約種別 従量電灯B

ご使用量 290kWh

請求予定金額 (うち消費税等相当額)

見本

基本料金  
電力量料金  
電灯料金  
2段料金  
燃料費調整額  
太陽光促進付加金  
口座振替割引

前年同月のご使用量と減少率

前年 8月分は29日間で 533kWhです。今月分は昨年と比べ 15%減少しています。

※電気料金のお知らせ (1kWhあたり)

8月(当月)分  
9月(翌月)分  
翌月分は当月分と比べ

次回検針予定日 月 日

地区番号 顧客さま番号

株式会社 検針日

株式会社 (000)

※開帳を行う場合のグループは1-Aです

《参考》

比べてみましょう  
我が家は多い？少ない？

1か月あたりの電気料金のめやす  
単位：円/世帯・月

	戸建住宅	集合住宅
単身世帯	5,400	4,400
2人世帯	7,700	6,300
3人世帯	9,100	7,400
4人以上世帯	11,400	9,300

（出典）「家庭の省エネハンドブック」東京都環境局  
「京都議定書の削減約束達成に向けた「国民行動の目安」について」  
（平成17年7月経済産業省・環境省）



# 東京都の住宅用創エネルギー機器等補助事業のご案内

「東京都電力対策緊急プログラム」に基づき、  
家庭の電力を確保するための創エネルギー機器導入を支援しています

補助金申請期限は、いずれも平成25年3月31日まで

## ◎太陽光発電システム

補助金額  
1kWあたり **10万円**

【3kWの太陽光発電システムの場合】

都の補助金 30万円 (1kW10万円×3kW)

国の補助金 14.4万円 (1kW4.8万円×3kW)

区市町村の補助金 (お住まいの区市町村へ  
お問合せください)

## ◎ガスコージェネレーションシステム (ガス発電給湯器、燃料電池)

補助金額  
1kWあたり **10万円**

【発電出力1kWのガス発電給湯器の場合】

補助額 10万円 (10万円/kW×1kW)

【発電出力0.75kWの燃料電池の場合】

補助額 7万5千円 (10万円/kW×0.75kW)

## 給湯需要が高まる季節、太陽の熱でお湯を沸かそう！

### ◎太陽熱利用システム (強制循環式ソーラーシステム、自然循環式太陽熱温水器)

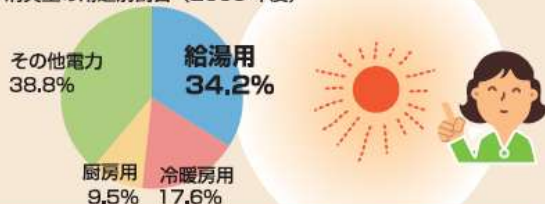
#### 補助対象

電気温水器から住宅用

太陽熱利用システムへ交換設置された方

補助金額  
集熱面積1㎡あたり **7万円**

都における家庭部門のエネルギー消費量の用途別割合 (2008年度)



電熱器具を使った電気温水器は4.4kWや5.4kWなど大きな電力を消費します。家庭のエネルギー消費の1/3を占める「給湯」にクリーンで枯渇しない太陽の熱を使ってみましょう。

#### 【集熱面積6㎡のソーラーシステムの場合】

○設置コスト 約80～100万円

○補助額 42万円 (7万円/㎡×6㎡)



**設置の負担が約半分に**

東京都住宅用創エネルギー機器等の補助金申請に関する受付相談窓口

**東京都地球温暖化防止活動推進センター (クール・ネット東京)**

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都庁第二本庁舎16F

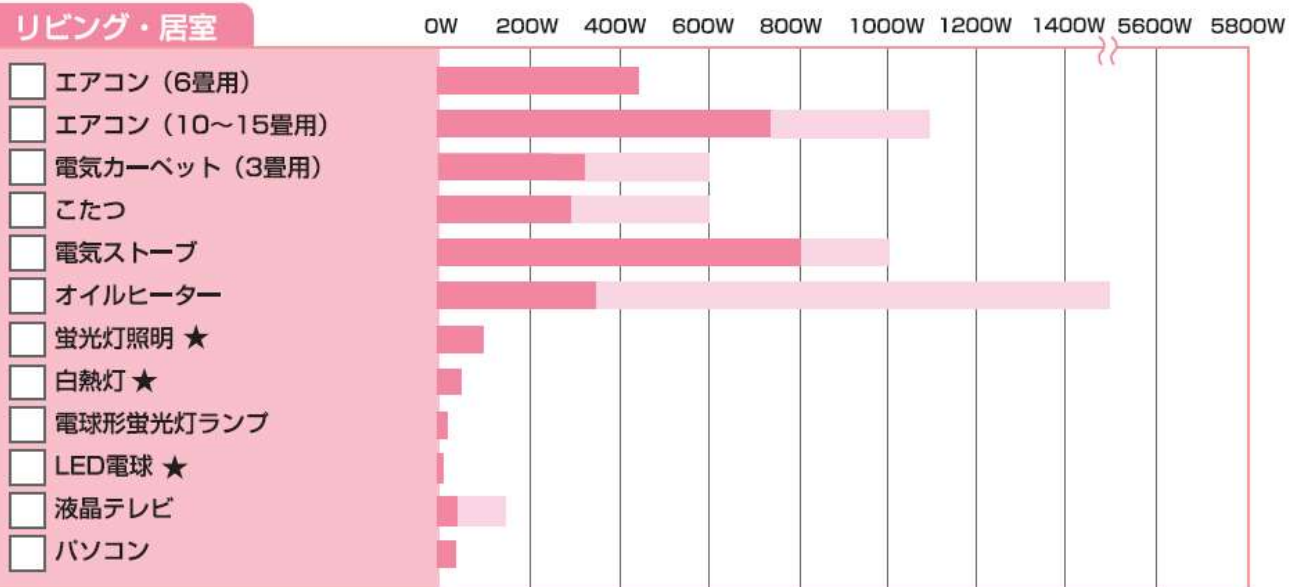
TEL: 03-5388-3472 メール: [tcca@kankyo.metro.tokyo.jp](mailto:tcca@kankyo.metro.tokyo.jp)

受付時間: 月曜日～金曜日 (祝祭日を除く) 9:00～17:00

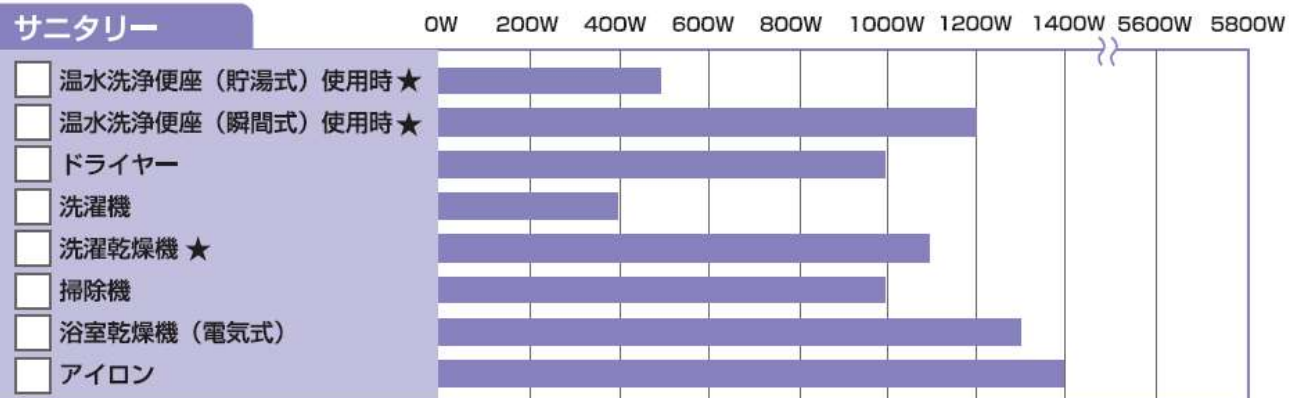


## お持ちの家電製品をチェック！

### リビング・居室



### サニタリー



### キッチン



※これは定格消費電力の一例であり、実際の使用時の消費電力は、製品の種類、使用方法等により異なります。

※出典：資源エネルギー庁調べ

**家庭には 1000W を上回る家電製品がたくさんあります。消費電力の大きさも意識して、電気の使い方を見直してみましょう。**

★マークの製品は定格消費電力が小さくても長い時間使用することがあり合計の電気使用量が多くなりがちです。そのため、省エネにもつながる節電に取り組みましょう。

お問い合わせは・・・